

南ア北部三千円の主稜を辿る

塩見岳～仙丈ヶ岳

実施日	2017年8月11日(金)～14日(月)
天候	11日 16時～ドシャ降り 12日～14日 晴れ
リーダー	瀧澤 きよの
参加者	島本陳重、白石恵美子、遠井謙策、中村友子、佐藤政司、瀧澤きよの、濱田優美子、宮崎敏男 計8名
費用	JR5,660円 車3,240円 車2,250円 宿泊代26,000円 合計37,150円
タイム	8/11 伊那大島 車(12:06)鳥倉登山口14:06(14:25)三伏峠小屋15:30 (泊) 8/12 三伏峠小屋4:05本谷山5:30(5:45)塩見小屋7:25(7:40)塩見岳(西)9:25(東)9:50北俣岳10:10北荒川岳12:05安倍荒川岳14:25熊ノ平15:45 (泊) 8/13 熊ノ平小屋3:30三峰岳5:45(5:50)横倉岳9:25(9:35)伊那荒川岳11:20大仙丈ヶ岳15:10仙丈ヶ岳16:15(16:25)仙丈小屋16:40 (泊) 8/14 仙丈小屋5:38北沢峠8:50(9:20)広河原

8/11 伊那大島駅で全員合流。2台目の車で鳥倉登山口に向かう。何とか小屋迄天気持ちますようと祈る。

登山口にはトイレあり大勢の登山



者で賑わっています。三伏峠小屋稜線迄は急登で樹林帯の中をジグザグ行くとNさん足がつり心配ですが、何とか歩いて小屋に向かう沢が出始める頃に本降り雨具装着で急登を登りようやく小屋迄200歩の表示を見て小屋に豪華な夕食を食べ、1人1枚の布団に就寝。

8/12 月も星空も出て今日は晴れです。心配のNさん何とか行けそうなので、力味噌汁を食べ4時過ぎ出発。

ヘッドライトを装着でテンバの横を通過し樹林帯の泥道を歩行。4時半頃には明るくなり、本谷山山頂から塩見岳が大きく待っています。富士山こそ見えませんが、ピンクの朝焼けの雲海の上白峰三山の稜線が見えます。塩見小屋迄樹林帯のアップダウンを行くと小屋です。



眼の前の塩見岳の大きい事。急登を登り、天狗岩を見、岩場を登ると山頂です。双耳峰の西

峰3047円で写真を撮り、大勢の登山者でにぎやかです。東峰は3052円からは荒川岳の稜線が伸びています。

ここよりは、こぶし会貸し切り山行の始まりです。山頂直下北俣岳分岐で北は北荒川岳、南、



蝙蝠岳稜線くっきりです。ザラバ急下降でキャンプ禁止標識の広い場所から岩稜ハイマツの稜線歩きで、北荒川です。振り返ると塩見岳が大迫力。樹林帯を行く

と新蛇抜山、安倍荒倉岳を巻き、急下降。ガスが出始め雨になりそうなので、熊ノ平小屋まで間一髪滑り込めセーフ。

東海フォレスト経営で前日山の日なので、ビール、お茶等のサービスで夕食はご馳走です。布団は1人1枚。水は南ア天然水です。トイレは長靴、傘さして行きます。すぐ就寝。

8/13 今日も天気。眼の前の農鳥岳が大きい。卵スプ飲み3時30分ヘッドン装着



で出発。

小屋前からテンバの横を通り三峰岳の急登を登ります。農鳥小屋分岐

の三国平を超え痩せた岩稜を登ると三峰岳山頂。

剣と同じ2999元。間ノ岳、北岳が雲海の中最高です。ダケカンバ、倒木の樹林苔



むす中、野呂川乗越。なだらかで遠く感じ、仙丈はまだ見えず。急登を登り横川岳です。標識もさびていいです。



写真を撮り僅かの登りで独標です。残念ながらガスで何も見えず、枯れた高望池を見て急登を

登って伊那荒倉岳です。

仙丈ヶ岳仙塩尾根の始まり。ダケカンバお花畑にはフウロ、トモエ草等、マル

バタケブキのフキ平を登り樹林帯、ハイマツの中、急登の登ります。チシマギキョウ、シオガマ等。突然、超プリン体ライチョウに会う。大仙丈カールを横目に岩場の大仙丈ヶ岳。お花畑。

写真を撮り、ガスの向こうの仙丈ヶ岳に向かいます。標識2本と人2人見えました。360度大展望。下に小屋西小仙丈ヶ岳。



写真を撮り東直下の仙丈小屋到着。遅いのが悪いだの、人数が多すぎるだの

で、一番最後組食事。親父の訓示は食時は美味しけど、一言多い。

明日の下山の打ち合わせ。小仙丈登らず、馬の背ヒュッテ、藪沢小屋、大滝ノ頭から北沢峠下山。就寝。

8/14 晴天。小屋からは乗鞍、北ア槍、中央ア、甲斐駒、鋸と見飽きない。きつい山行も名残惜しい。

朝食を食べ大勢の登山者の中を馬の背ヒュッテから藪沢を超え



大滝の頭から鳳凰三山オベリスクが見えます。ひたすら下り北沢峠。9時45分の??で広河原から乗合タクシーで芦安温泉で温泉に入り反省会。南アの超時間歩行に参加して頂き協力して頂きありがとうございました。今度は6時間から7時間の計画を立てたいと思います。楽しい夏休みありがとうございました。

(記・瀧澤 きよの)

(写真提供・遠井 謙策/宮崎 敏男)